Citizens Net for Habitat Fukuoka
ハビタット福岡市民の会

市民の会通信　第10号
2002年5月23日発行
ハビタット市民の会

＜第10号の主な内容＞

●野田新所長のメッセージ
●アフガニスタン写真展を開催
●国連ポスター展を開催へ
●５周年を迎えて･川合協力委員会会長にインタビュー
●ハビタット福岡市民の会に学んで
●事務局より

国連ハビタット福岡 野田順康・新所長が就任

国際連合ハビタット福岡事務所所長に野田順康(としやす）氏が就任されました。新所長は1979年、旧国土庁に入庁し、1983年にハビタット本部（ナイロビ）の居住専門官となって以来、継続的にハビタットの活動に携わり、4月18日付で内閣府参事官から福岡事務所長に着任されました。野田新所長よりメッセージをいただきましたのでご紹介します。

この度、国連ハビタット（国際連合人間居住計画）福岡事務所長に就任することになりました。宜しくお願い致します。

国連ハビタットに関わって約２０年になりますが、この間の最も大きな仕事が福岡事務所の誘致でした。当時、国土庁地方振興局に勤務していたこともあり、是非とも三大都市圏以外に誘致したいと難しい協議を重ねたことが思い出されます。念願かなって「アジアと共生する福岡」に設置できたことを心から喜んでおりましたが、自分自身がその責任者になることになり，職責の重さを痛感するとともに、身の引き締まる思いが致します。特に、今後２～３年の間は、アフガニスタンの復興支援が私どもの最重要課題になりますが、２５年にわたる戦争から同国が少しでも早く立ち直れるよう、最大限の努力を払わねばなりません。

ハビタット福岡市民の会には、設立当初から会員として参加させて頂いています。自分たちの「まち」の国連機関としてハビタットを育てていただくためには、市民の方々のご支援が必要不可欠です。皆さんと共に、アジア・太平洋のまちづくりをリードするハビタット福岡事務所に育成・強化していけることを心より願っています。

ハビタット福岡市民の会　EVENT INFORMATION

●市民の会定例会を毎月１回行っています。
今後の定例会は、
2002年5月３０日（木）　19：00～21：00
会場：人権啓発センター（博多リバレイン10階）
2002年６月１９日（水）　19：00～21：00
会場：麻生ビューティーカレッジ
中央区大名2-9-3（舞鶴1丁目バス停すぐ）

●会場・内容は事前に市民の会ホームページ
http://www2.ktarn.or.jp/~muta/cnhf/
または、fax ０９２－９２８－５５２９
でご確認ください。

国連ハビタット　アフガニスタン写真展を開催

会場には「アフガニスタン・まちづくり募金箱」が設置され、多くの皆様から募金をいただきました。

4月27日（土）から5月6日（月）まで福岡市天神のアクロス福岡2階交流ギャラリーにおきまして、「国連ハビタット・アフガニスタン写真展」が開催されました。これは、国連ハビタット福岡事務所・（財）福岡県国際交流センター・（財）アクロス福岡の主催で行われました。これらの写真は国連ハビタット・ナイロビ本部のラスナ・ワラー氏がカブールにおいて撮影したもので、アフガニスタン復興に奮闘するハビタットの活動がよくわかる内容になっており、ゴールデン・ウィーク、博多どんたくの時期と重なったことにより、多くの方々が見学に訪れました。

また期間中、会場には「アフガニスタン・まちづくり募金箱」が設置され、たくさんの方からご協力をいただきました。この募金は国連ハビタットのアフガニスタンにおける子どもたちの遊び場、遊び道具の整備にあてられることになっています。

(C)　Rasne Warah,UN-HABITAT

(C)　Rasne Warah,UN-HABITAT

「環境フェアふくおか２００２」にハビタット福岡市民の会が参加

福岡市環境局主催の「環境フェアふくおか２００２」が、６月８日（土）・９日（日）の２日間、福岡市天神のソラリアプラザ１階のゼファで開催されます。昨年に引き続き、ハビタット福岡市民の会としてもステージ出演を行います。皆さん、どうぞ皆さん、お出かけ下さい。

※今年はステージのみの発表になりました。そして両日とも18時から「ハビタット紙芝居」を行います。

※６月９日（日）は１９：００～１９：１０　スリランカ民謡と民族衣装紹介（10分）

１９：１０～１９：４０　ネパールの歌と踊りと民族衣装紹介(30分)

１９：４０～２０：００　インド・オリッサ地方の民族舞踊（20分）　も行います。

「国連ポスター展～よりよい世界のために～」の開催が決定！

「国連ポスター展～よりよい世界のために～」が福岡で初公開されることが決定しました　(主催:国連ハビタット・日本国連協会福岡県本部)。

この展示会は２０００年１２月にニューヨークの国連本部で開催されて以来、パリ、ジュネーブ、オスロ、ウィーン、ソウルなど世界８都市を巡回して大好評を博しています。展示される作品は、第２次世界大戦直後に国連が創設された当初から現代に至るもので、最も新しい作品は、昨年９月に起きた米同時多発テロ事件に関するものです。２００枚近い作品群は、世界的に有名な芸術家たちの手によるもので、キース・ヘリング氏（米国）、ホアン・ミロ氏（スペイン）、日本の平山郁夫氏らが参加しています。福岡では約９０枚が展示される予定です。展示されるポスターすべてのポスターは、国連のそれぞれの機関がデザインしたもので、軍縮局、ユニセフ、国連ハビタットなど、１５以上もの関連組織、専門機関が含まれています。いずれのポスターも、国連の歴史と国連の志す目標・目的を示しており、そのテーマは、国際年を記念するものから児童労働、地球温暖化、人間居住など現代の抱える問題を訴えるものまで様々です。

期間：平成１４年５月２１日（火）～６月３日（月）　午前８時～午後１０時
会場：アクロス福岡１階　アトリウム

ハビタット福岡市民の会に学んで　＜寄稿＞松田玲子さん

３月に西南学院大学文学部国際文化学科を卒業して４月から、広島大学大学院国際協力研究科教育文化専攻博士課程前期の１年に在籍し、「インド農村における女子学齢児童の就労に関する研究」をしています。ジェンダー関係は、何か感情論になりがちというイメージが私の個人的な偏見の中にあって、あまり好きではなかったのですがインドだけではなく、国際的に女子の就学は大きなテーマになっている割に、しっかりとした調査やデータに基づく論文が日本ではまだまだ少ないので、挑戦する価値があるのではと思って決めました。大学院の環境ですが、ここは学部がなく大学院だけなので全国から学生が来ていますし、入試では大きな社会人枠もあるので年齢層も幅広く、学問以外でもとても勉強になります。何よりも、留学生が６０％（アジアからの留学生がほとんど）もいるので色んな言葉が飛び交っていて毎日がとても刺激的です。特に最近印象的だったのは、授業の中で日韓の歴史問題をテーマにしたときがあったのですが。韓国との関係だけではなくアジアの人々が日本についてどう思っているのか、日本は何をすべきなのかという非常にセンシティブな内容をイギリスやアジア各国からの留学生と直に腹を割ってディスカッションできた事です。変な言い方ですが「日本人はアジア人なのになぜだか、まだまだどっぷり浸かってないなあ」と感じました。広島県自体、意外と国際的な交流や活動が少ないので、福岡にいてハビタット市民の会の活動などでボランティアができることは本当に恵まれた環境だと思いますし、もっともっと活発に、広く市民を巻き込んでいけたらと強く思います。

ハビタット福岡協力委員会・川合会長にインタビュー
～アジアの居住環境整備へ、支援の輪をさらに広げよう～

国連ハビタット福岡が福岡市に設置されてまもなく５周年。今回、編集部として、ハビタット福岡協力委員会の川合辰雄会長（九州・山口経済連合会顧問）にインタビューをさせていただきました。

■国連ハビタット福岡事務所はこの７月で誘致５周年を迎えます。この５年間支援してきていただいたわけですが、特に苦労された点をお聞かせ下さい。

もともとハビタット福岡事務所は、地元官民が一体となって誘致したものですが、「協力委員会」は、主に財政面での支援を目的に97年４月に地元経済界で設立しました。設立時は、県内企業25社でしたが、現在は32社にご参加いただいています。今後更に支援を広げていくためには、ハビタット活動の重要性や、地元経済界が国際貢献をする意義をご理解いただかなければなりません。企業にとって厳しい経営環境が続いていますし、理解を得るにはかなりの苦労といいますか、努力が必要です。

■国連ハビタット福岡事務所が、福岡に存在する意義について、川合会長のお考えをお聞かせください。

ご存じのとおり、福岡は地理的にアジアと近いだけでなく、歴史的にもアジアの交流拠点として発展してきました。そのようなことから、アジア・太平洋地域でのハビタット事務所開設の話がもち上がった際、ぜひ福岡がお役に立ちたいということで誘致いたしました。福岡事務所は、九州で唯一の国連機関として、この５年間海外での福岡の知名度向上、そして県内の国際化促進へも積極的に貢献されてきました。最近では、福岡で開発された環境保全技術を支援に役立てる動きもあるようですし、これから更に協力関係を深めていく必要があると思います。

■次の５年間に向けての支援についてのお考えをお聞かせください。

最近では、アフガニスタンでの復興支援が注目されていますが、それ以外にも都市への人口集中が進むアジアでは、居住環境の整備を行っているハビタットの果たす役割はますます大きなものになると思います。協力委員会としても、市民の会の皆さんや、日本ハビタット協会と一緒に、できる限り支援していきたいと思います。今回、初の日本人所長である野田所長をお迎えしていますし、この支援の輪がもっと広がっていけばいいですね。

ハビタット福岡市民の会事務局より

●ホームページ
http://www2.ktarn.or.jp/~muta/cnhf/
●事務局FAX番号　092-928-5529
●電子メール　CYK02262@nifty.ne.jp
ホームページでは定例会・勉強会の報告や運営委員会の議事録も掲載しています。ゲストブックにメッセージをお送り下さい。

●入会のお申し込み
お気軽に勉強会や定例会へご参加下さい（会場はお電話やＨＰでご確認ください）。福岡県外の方も大歓迎。入会希望の方はお名前と、ニューズレターの送付先を、ハガキ、ファックス、電子メールでお知らせのうえ、年会費（社会人２０００円・学生１０００円）をお近くの郵便局でお振込み下さい。
●口座：ハビタット福岡市民の会
０１７３０－０－７８４３４